



YAMAZEN

令和4年9月9日

各位

会社名 株式会社やまぜんホームズ
代表者名 代表取締役社長兼最高経営責任者 前野 一馬
(コード番号 1440 TOKYO PRO Market)
問合せ先 取締役常務執行役員 澤田 博明
TEL 0594-48-5224 (代表)
URL <http://www.yamazen-homes.com/>

令和4年7月期通期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

令和4年3月11日に公表した令和4年7月期(令和3年8月1日～令和4年7月31日)における通期業績予想数値と本日公表の実績値との間で差異が生じたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 令和4年7月期通期業績予想と実績値との差異(令和3年8月1日～令和4年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,782	百万円 41	百万円 42	百万円 △29	円 銭 △18.38
当期実績値(B)	5,884	△131	△17	△90	△56.06
増減額(B-A)	102	△172	△59	△61	
増減率(%)	1.8	-	-	-	

2. 差異が生じた理由

(1) 売上高及び売上総利益

売上高は住宅事業の分譲住宅が新型コロナウイルス感染症の影響で予想を338百万円上回ったことと飲食事業に於いては、だるま鰻が好調で予想を24百万円上回った。また不動産事業に於いては事業用地の後ズレにより予想を251百万円下回ったことで売上高は当初予想を102百万円上回り5,884百万円となりました。売上総利益についてはウッドショックの影響で材料費等の高騰で予想1,813百万円から1,503百万円となりました。

(2) 営業利益、経常利益

販売費および一般管理費については、経営合理化などの施策により経費を削減し、予想1,772百万円から1,635百万円となりましたが、上記(1)の通り、売上総利益の減少が響き、営業利益は当初予想を172百万円下回り、△131百万円となりました。

また営業外収益として、保険収入が112百万円あり、経常利益は当初予想を59百万円下回り、△17百万円となりました。

(3) 親会社利益に帰属する当期純利益

上記(2)の通り、経常損失が響き、また不動産鑑定評価の結果、新たに特別損失2百万円を計上し、当期純利益は当初予想を61百万円下回り△90百万円となりました。

以上